

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

整理番号 26-18
補助事業名 平成26年度機械工業における国際経済交流推進補助事業
補助事業者名 一般財団法人国際経済交流財団

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

機械工業にとって重要な国際経済の諸課題の解決に向け、国際交流会議での対話を通じ、外国との相互理解が増進し協力関係が強化されることで、貿易自由化等が一層進み、貿易相手国の関税引下げ等により、我が国機械工業の国際競争力の強化を図る。

(2) 実施内容

①日欧フォーラムの開催 (<http://www.jef.or.jp/jp/eu.asp>)

平成26年6月3日、ドイツにおいて日欧フォーラムを開催。「どのように今般の経済危機を乗り越えるかー経済成長に向けた日・EUそれぞれのアプローチ」を主要テーマに、マクロ経済政策、貿易問題、高齢化社会における課題について意見交換を行った。



②日米フォーラムの開催 (<http://www.jef.or.jp/jp/us.asp>)

平成26年9月30日、米国において日米フォーラムを開催。日米で指導的役割を果たしている有識者が共通の課題や協力の可能性について意見交換を行うことにより相互理解を深めることを目的としており、今回は、日本と米国の国内政治がダイナミックに変化する21世紀においてエネルギー、貿易等の各課題にどのように対応するのかについて意見交換を行った。

(別紙5)



③日アジア太平洋フォーラムの開催 (<http://www.jef.or.jp/jp/asia.asp>)

平成26年11月24日、シンガポールにおいて日アジア太平洋フォーラムを開催。メガ・リージョナルに向けた繁栄と責務の共有を主要テーマに、アジア太平洋地域のTPP、RCEP等の連携協定について意見交換を行った。



④学識者派遣

平成26年10月16日から10月18日にメキシコのメキシコシティで開催されたローマクラブの年次総会に2名を派遣し、日本の都市におけるスマートコミュニティの実験について紹介を行った。

2 予想される事業実施効果

各フォーラム事業の実施によって、世界経済の重要課題について、欧米アジア諸国間の相互理解が促進されることで、協力の必要性が認識され、課題への解決が期待される。特にFTA等経済連携の進展が期待される。また、若手研究者の参加を通じ人材の育成が図られた。また学識者派遣事業の実施により、海外ネットワークが広がり、世界との相互理解が進み、課題への解決に繋がることを期待される。

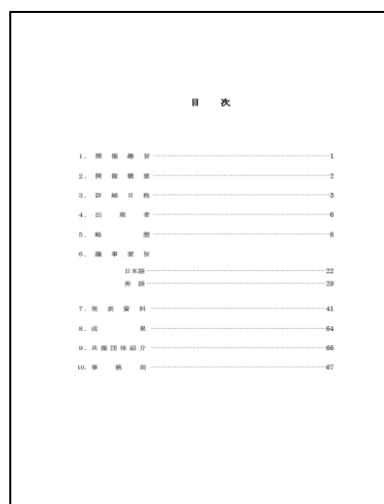
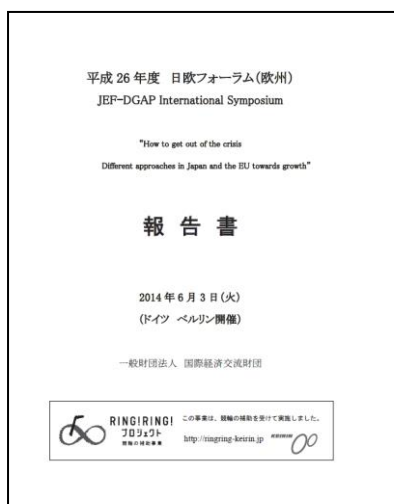
(別紙5)

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

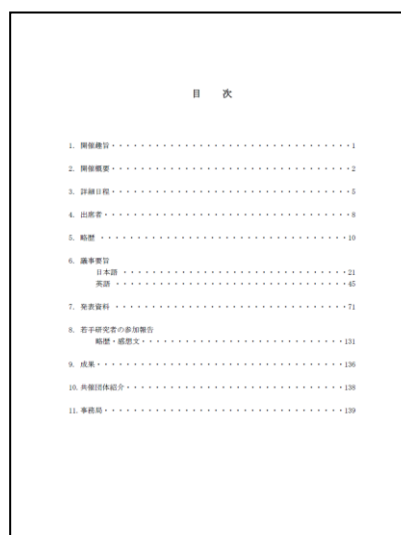
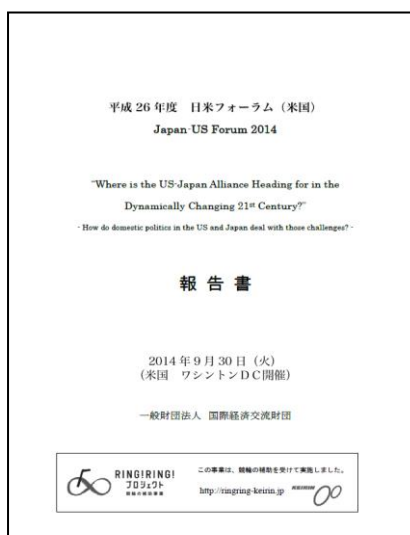
平成26年度日欧フォーラム(欧州)報告書

https://www.jef.or.jp/PDF/eu_26.pdf



◇ 平成26年度日米フォーラム(米国)報告書

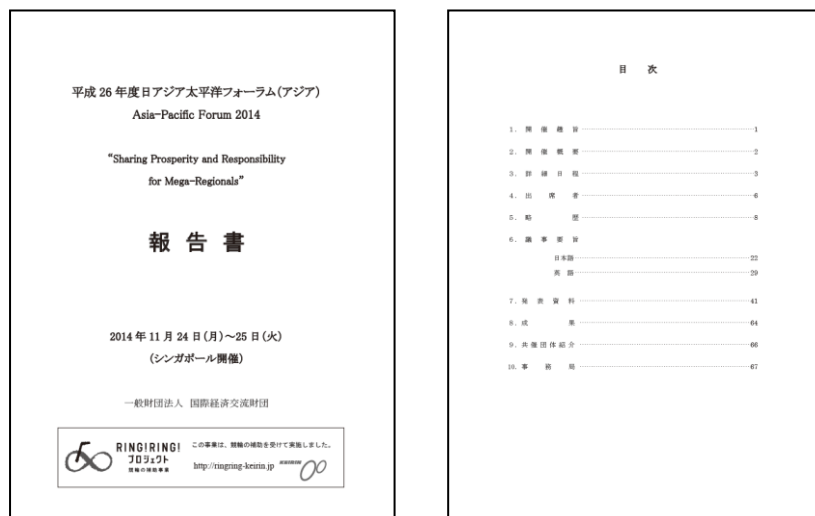
https://www.jef.or.jp/PDF/us_26.pdf



(別紙5)

◇ 平成26年度日アジア太平洋フォーラム（アジア）報告書

(https://www.jef.or.jp/PDF/asia_26.pdf)



(2)(1) 以外で当事業において作成したもの
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人国際経済交流財団（コクサイケイザイコウリュウザイダン）

住所： 〒104-0061東京都中央区銀座5丁目15-8 時事通信ビル11階

代表者： 会長 日下一正（クサカカズマサ）

担当部署： 総務部

担当者名： 総務部主任 渡辺昌子（ワタナベマサコ）

電話番号： 03-5565-4823

F A X： 03-5565-4828

E-mail： info@jef.or.jp

U R L： <http://www.jef.or.jp/jp/index.asp>